

⑩エコロゴマークを探せ！

実施時間	45分	対象学年	小学校5年生以上
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会・世界の中の日本・我が国の工業生産 家庭科・物や金銭の使い方と買い物環境に配慮した生活の工夫		
	【中学校】		
社会・現代の日本と世界・私たちと国際社会の諸課題			
家庭科・日本食の調理と地域の食文化・食生活と栄養・家庭生活と環境			
【高等学校】地歴公民・家庭・美術			
○概要○ 日常にあふれる様々な物には、エコロゴマークが付いていることに気づき、意味や目的に応じて環境活動の一端を担っていることを理解する。			

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“エコロゴマーク”に関わる問いかけ。 「物品に付いているエコロゴマークってわかる?」。	○“エコロゴマーク”に関わる関心を引き出す。	
展開1 (15分)	○ロゴマークを探してみよう! ★教室の中にある“エコロゴマーク”を探す。 →自分の所持品や学校の備品等から探す。 →どんなものがあるか発表する。	○身の回りのエコロゴマークに気づく。	・ワークシート
展開2 (15分)	○どんな意味か考えてみよう! ★マークのデザインや文字からどのような意味か予測する。 →エコロゴマークは、説明がなくてもわかるようにデザインされている。 →エコロゴマークが意味する行動を考える。	○エコロゴマークの意味を考える。	・ワークシート
展開3 (10分)	○エコロゴマークで行動に移そう! ★エコロゴマーク付きのものを利用するとどのようなことに役に立つか考え、行動を考える。 →リサイクルマークとエコロゴマークの違いを解説。 →どのような行動に役立つか考える。	○エコロゴマークの意味や目的を考え環境活動につなげる。	・ワークシート

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 世界基準のエコロゴマークを調べる。 ユニバーサルデザインを考える。 	世界のエコロゴマークについて考え、誰でも取り組めることを考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物全体のリサイクルの割合を調べる。 資源循環する仕組みを考える。 	廃棄物全体のリサイクルの状況を学び、循環システムについて考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生資源としての価値を考える。(例) 鉄、プラスチック 	原料の輸入に着目し、リサイクル品の再生資源としての価値を考える。

○情報リンク○

- ・沖縄県リサイクル資材評価認定制度 [情報](https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/kanri/jigyoyu/yuikuru.html) [画像](#)
(<https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/kanri/jigyoyu/yuikuru.html>)
- ・環境省 環境ラベル等データベース [情報](https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html) [画像](#)
(<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>)

エコロゴマークを探せ！ ワークシート

教室の中のエコロゴマークを探そう！

デザイン	何についてた？	どういう意味かな？
例) 	ノート	再生紙を利用している。

エコロゴマークやリサイクルマークを探して行動しよう！

エコロゴマーカー

●エコロゴマーカー●（国及び第三者機関の取り組みによる環境ラベル）

判別 マーク				
名前	国際エネルギー スターロゴ	エコリーフ	省エネ性マーク	統一省エネルギー ラベル
意味	パソコンなどのオフィ ス機器について、稼働 時、スリープ・オフ時の 消費電力に関する基準 を満たす商品につけら れるロゴマーク	LCA（ライフサイクル アセスメント）手法を 用いて 製品の全ライ フサイクルステージに わたる環境情報を定量 的に開示する 日本生 まれの環境ラベルマー ク	日本工業規格（JIS）に より定められた省エネ基 準をどの程度達成して いるかを表示するマー ク	省エネ法に基づき、小 売事業者が省エネ性能 の評価や省エネ性ラベ ル等を表示するマーク
マークを定 めたところ	経済産業省	一般社団法人産業環 境管理協会	経済産業省	経済産業省
判別 マーク				
名前	低排出ガス車認定マ ーク	エコマーク	グリーンマーク	牛乳パック再利用マ ーク
意味	自動車の排出ガス低減 レベルを示すもので、 自動車製作者の申請に 基づき国土交通省が認 定するマーク	商品の一生（ライフサ イクル全体）を考え環 境を守るのに役立つと 認められた商品に表示 するマーク	原料に古紙を規定の割 合以上利用しているこ とを示すグリーンマー ク	使用済み牛乳パックを 原料として使用した商 品につけられるマーク
マークを定 めたところ	国土交通省	公益財団法人日本環 境協会	公益財団法人古紙再 生促進センター	牛乳パック再利用マ ーク普及促進協議会
判別 マーク				
名前	森林認証マーク	非木材グリーンマル ク	MSC「海のエコラベ ル」	再生紙使用マーク
意味	適切な森林管理が行わ れていることを認証す る「森林管理の認証 （FM 認証）」と森林管 理の認証を受けた森林 からの木材・木材製品 であることを認証する 「加工・流過程の管 理の認証（CoC （Chain of Custody）認証）」 の2種類の認証マーク	地球温暖化防止に心が け、森林資源を節約し、 CO ₂ の吸収源であるサ トウキビ、竹、ケナフ といった非木材植物を 使用した紙・紙製品、産 業資材並びに非木材植 物関連製品を普及・開 発するためのマーク	持続可能で適切に管理 されている漁業である ことを認証する「漁業認 証」と、流通・加工過程 で、認証水産物と非認証 水産物が混じることを 防ぐ CoC（Chain of Custody）認証の2種 類の認証から成る認証 マーク	古紙パルプ配合率 100%再生紙を使用し ている自主的なマー ク。 再生紙を使用している 印刷物などにつけられ る。古紙パルプを何% 配合しているか示すマ ーク
マークを定 めたところ	FSC（Forest Stewardship Council：森林管理 協議会）	NPO 法人非木材グ リーン協会	Marine Stewardship Council （海洋管理協議会）	3R活動推進フォー ラム（旧ごみ減量化 推進国民会議）

ごみ

※上記のエコロゴマークは一部。他にもたくさんのエコロゴマークがあります。

●リサイクルマーク●

「資源の有効な利用の促進に関する法律」により、消費者の分別排出を促進することを目的として、それぞれの容器包装に表示が義務付けられているマーク

判別 マーク	 PET	 PE	 紙	 スチール (鉄)	 アルミニウム	 Ni-Cd
素材	ポリエチレン テレフタレート	プラスチック	紙	スチール (鉄)	アルミニウム	ニカド電池
用途	PET ボトル	プラスチック	アルミ不使用 の飲料用紙パ ックと段ボ ールを除く紙製 容器包装	スチール缶 (飲料用缶な ど)	アルミ缶(ビ ール缶、飲料用 缶など)	ニカド電池 (密閉型ニッ ケル、水素蓄 電池、リチウ ム二次電池、 小型シール鉛 蓄電池にも表 示が定められ ている)

法的な識別義務はないが、リユース・リサイクルを進めるために業界団体等が自主的に、製品の素材や回収ルートがあることを表示するマーク

判別 マーク	 紙パック	 ダンボール	 R	 スチール®	 スチール 使い切ってリサイクル	 モバイルリサイクルネットワーク
素材	紙パック	段ボール	ガラスビン	スチール (鉄)	スチール (鉄)	携帯電話
用途	アルミ不使用 の飲料用紙パ ック(表示義務 はなく、業界団 体が自主的に 表示)	段ボール(表 示義務はなく、 業界団体が自 主的に表示)	規格を統一し たリターナル ビンと認定し たガラスびん に刻印されて おり、何度も 繰り返し使う ことのできる びん	一般缶(鉄製 容器)(表示義 務はなく、業 界団体が自主 的に表示)	18 リットル缶 (表示義務は なく、業界団 体が自主的に 表示)	メーカー、ブ ランドに関係 なく携帯電話 等を回収して いる店を表す マーク(業界 団体が自主的 に表示)

い
み

エコロゴマークを探せ！（指導用解説）

●ワークシート記入例●

エコロゴマークを探せ！ワークシート

 教室の中のエコロゴマークを探そう！

デザイン	何についてた？	どういう意味かな？
	ノート	再生紙を利用している。 資源を再利用している等
	ティッシュ	責任ある木質資源を使用した紙
	チョコレート	環境に優しい貨物鉄道を利用して運ばれている商品
	ペットボトル	ペットボトルの分別表記

 エコロゴマークやリサイクルマークを見つけて行動しよう！

- ・環境に配慮したエコロゴマークが表記された商品を選んで購入する。
- ・分別表記のエコロゴマークに沿って資源をリサイクルする。
- ・エコロゴマークを調べて、どんな取り組みがされているのか調べる。

●ゆいくるマーク●（沖縄県リサイクル資材評価認定ラベル）

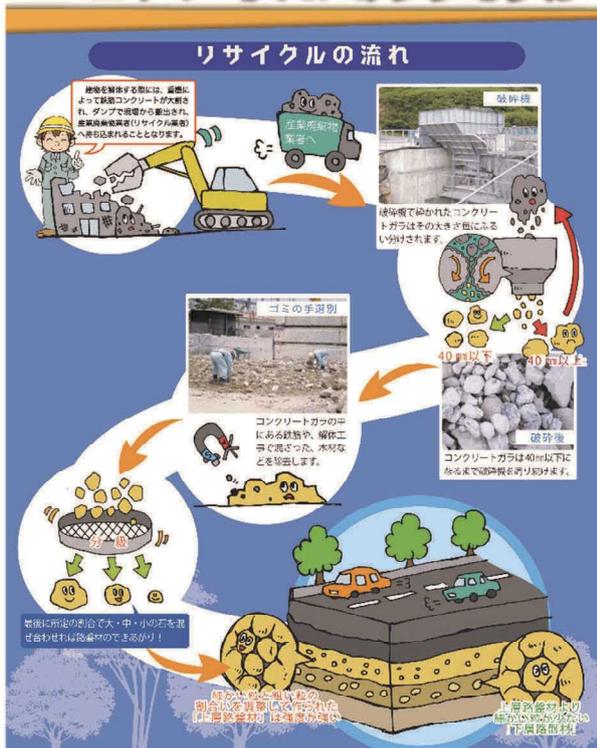
沖縄県は、県内で排出された廃棄物を原材料とした建設リサイクル資材の利用促進による循環型社会の構築の支援と、最終処分場の延命化を図ることを目的として、平成16年7月に「沖縄県リサイクル資材評価認定制度（ゆいくる）」を制定。建設資材として、品質・性能・環境に対する安全性等の評価基準に適合する資材を『ゆいくる材』として認定し、公共工事で積極的に使用。

（沖縄県土木建築部技術・建設業課）

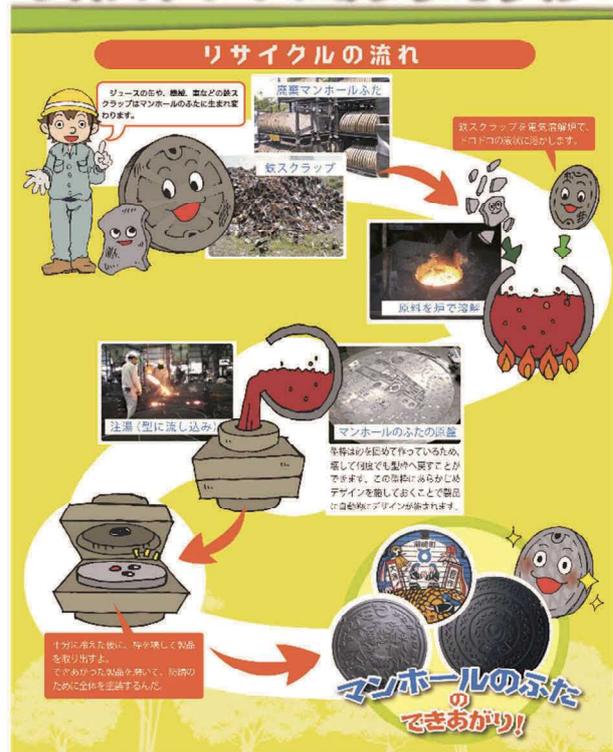


（ゆいくる材一例）

コンクリートガラのリサイクル



鉄スクラップのリサイクル



（引用：一般財団法人沖縄県建設技術センターHP）

⑰ 3R選手権

実施時間	45分	対象学年	小学校5年生以上
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会 ・世界の中の日本・我が国の農業と水産業・我が国の工業生産 理科 ・生物と環境 家庭科 ・物や金銭の使い方と買い物環境に配慮した生活の工夫		
	【中学校】		
	社会 ・現代の日本と世界・私たちと国際社会の諸課題 理科 ・生物と環境 技術・家庭科 ・家庭生活と環境		
	【高等学校】地歴公民・家庭		
○概要○ すごろくを作成することで、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の意味を理解し、実践行動へつなげる。			

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ <small>○児童の活動 ★講師・教員が実施</small>	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →3Rに関わる問いかけ。 「3Rってなんでしょうか？」など。	○3Rに関わる関心を引き出す。	
展開1 (10分)	○3Rの行動を考えてみよう！ ★3Rの行動を紹介し、自分たちでできる行動を青い付箋に、逆行する行動を赤い付箋に書き出す。 →自分たちでできる3Rを考える。 →逆に、3Rと逆行する行動についても考える。	○自分の行動を振り返り、3Rの行動に結びつける。	・付箋（青、赤）
展開2 (15分)	○3Rすごろくを作ろう！ ★グループに分かれ、書き出した青と赤の付箋をもとにオリジナルすごろくを作成する。 →効果があるものには追加で進める指示を追加（3コマ進む等）。 →逆効果の場合は後進指示を追加（振り出しに戻る等）。	○3Rの行動を理解する。	・付箋（青、赤） ・模造紙 ・ペン
展開3 (15分)	○すごろくをやってみよう！ ★作成したすごろくを隣のグループと交換し実践。 →他のグループではどんな行動があるか体験。 →最後に体験した感想と宣言カードを作成。	○3Rの行動を自分事として実践行動へつなげる。	・作成したすごろく ・コマ ・サイコロ ・感想宣言カード

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 3Rの取り組みを実践してみる。 地域へ3Rの普及啓発を行う。 	効果的な行動を考え、3Rを実践する。
	<ul style="list-style-type: none"> 社会における3Rの実践を考える。 消費活動の見直し。 	3Rの取り組みを実践的に考え、社会の消費活動の見直しを図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 3Rを実践しない場合の将来的な資源の量を調べる。 	消費活動に伴って消費される資源量について考え、資源の有限性を考える。

○情報リンク○

- 環境省 3R「まなびあいブック」[情報](https://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_book/index.html) [画像](#)
(https://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_book/index.html)
- 資源リサイクル推進センター3R学習教材貸し出し [情報](http://www.cjc.or.jp/study/kyouzai.html) (<http://www.cjc.or.jp/study/kyouzai.html>)
- やってみよう！3Rすごろく [情報](http://www.cjc.or.jp/j-school/d/d-2-1.html) (<http://www.cjc.or.jp/j-school/d/d-2-1.html>)

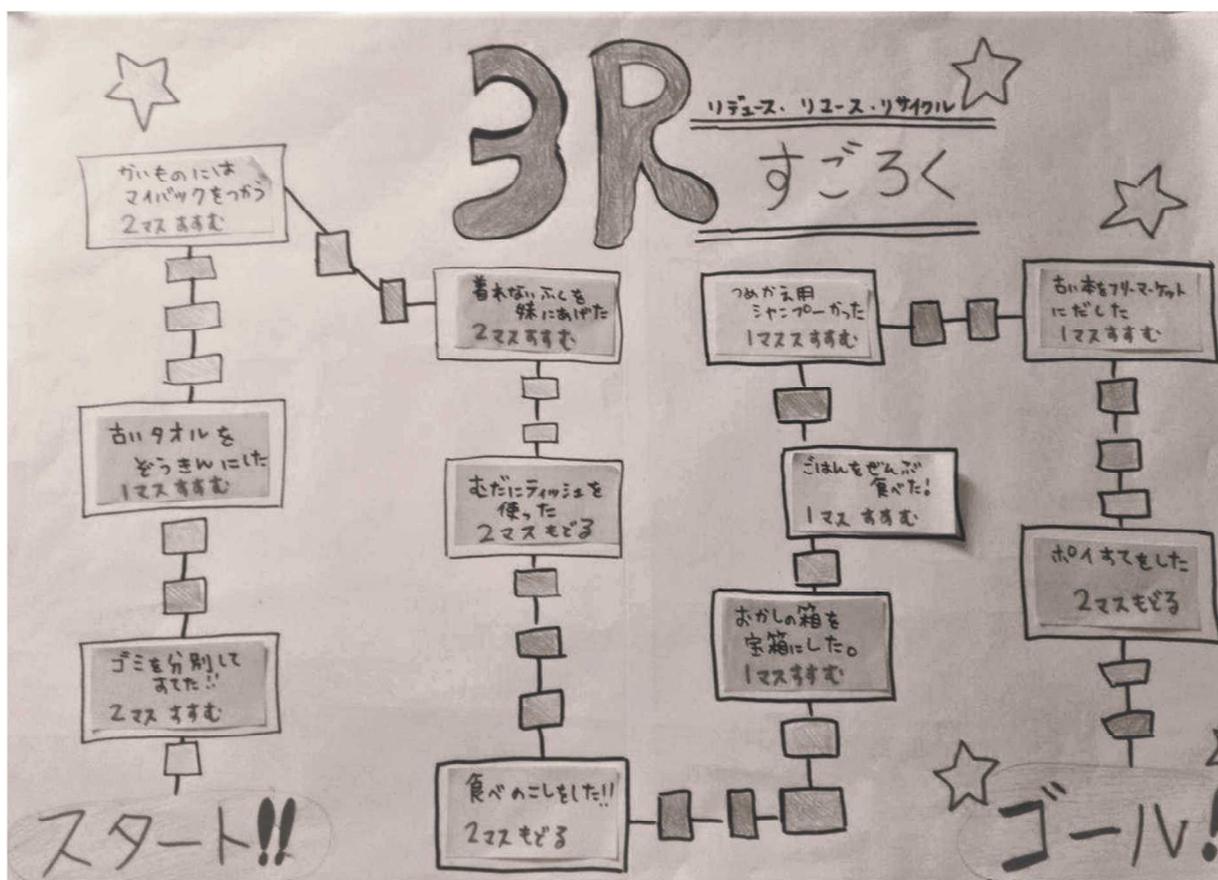
ご
み

3R 選手権！（指導用解説）

【すごろく作成手順】

- ① 3Rを推進する行動と、3Rに逆行する行動のアイデアを抽出する。
- ② それぞれのアイデアを、すごろくとしてつなげていく。
- ③ 3Rを推進する行動には、「1マス進む」「3マス進む」など、行動内容により表記をする。
- ④ 3Rに逆行する行動には、「1マス戻る」「3マス戻る」「ふりだしに戻る」など、影響が大きい内容に表記する。

●すごろくサンプル●



⑱ごみの山は宝の山

実施時間	45分	対象学年	中学生以上
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会・世界の中の日本・我が国の農業と水産業・我が国の工業生産 理科・生物と環境 家庭科・物や金銭の使い方と買い物環境に配慮した生活の工夫		
	【中学校】		
	社会・現代の日本と世界・私たちと国際社会の諸課題 理科・生物と環境 技術・家庭科・家庭生活と環境		
	【高等学校】地歴公民・家庭		
○概要○	自分を中心にした生活の循環図を作成し、「捨てるもの」からビジネスチャンスを考案することを通して、循環型社会を考える。		

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“循環型社会”に関わる問いかけ。 「循環型社会ってどういうことだろう？」など。	○“循環型社会”に関わる関心を引き出す。	
展開1 (10分)	○自分の生活が循環しているかを考えよう！ ★自分を中心にした生活の循環図を作成（ウェビング等）。 →まずは自分の考えで循環図を作成させる。 →循環が思いつかない生徒は生活から振り返る。 →「食」に絞るとわかりやすい。	○自分の生活を振り返り、循環を考える。	・ワークシート
展開2 (15分)	○「循環型社会」のアイデアを見てみよう！ ★県内外の循環型社会のための取り組みを紹介。 →廃棄されていたものから新しいものを考える視点。 →「捨てるもの」からビジネスチャンスを考える。 →島嶼地域である沖縄は、資源を循環させるシステムが必要なことを解説。	○循環型社会について学ぶ。	
展開3 (15分)	○循環型社会に変えていこう！ ★作成した自分の循環図に「循環型社会」のアイデアを加え、グループで話し合う。 →足りないルートは新たに考える。 →自分の生活ができる限りつながるシステムを考案。	○循環型社会について考える。	・作成したワークシート

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・世界の循環型社会について調べる。	各国の制度や地域の取り組みを調べ、循環型社会の実現について考える。
	・循環型社会の実現に向けた地域の取り組みを調べる。（企業・行政等）	地域の産業や行政の方針を調べることで、環境に配慮した取り組みを学ぶ。

○情報リンク○

- ・環境省 東京2020 みんなのメダルプロジェクト [情報](http://www.toshi-kouzan.jp/) (http://www.toshi-kouzan.jp/)
- ・沖縄県リサイクル資材評価認定制 [情報](http://www.okinawa-ctc.or.jp/recycle/yuikuruseido/) [画像](#) (http://www.okinawa-ctc.or.jp/recycle/yuikuruseido/)
- ・株式会社八重瀬堆肥センター [情報](http://www.yaasetaihi-center.com/) [画像](#) (http://www.yaasetaihi-center.com/)

ごみの山は宝の山 ワークシート

ご
み



自分

「循環型社会とは？」

1. 廃棄物等の発生を抑制
2. 廃棄物等のうち有益なものは資源として活用
3. 適正な廃棄物の処理

天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会

【持続可能な社会を目指した取り組み】

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の約 5000 個の金・銀・銅メダルを全国各地から集めたリサイクル金属で作る国民参画型プロジェクト。

東京 2020 大会をきっかけに、持続可能社会の実現を目指す取り組みです。（主催：東京 2020 組織委員会）



【都市鉱山とは？】

使用済み小型家電は、金・銀・銅などの貴金属やレアメタル（希少金属）が含まれていることから、都市にある鉱山という意味で「都市鉱山」と呼ばれる。日本は1年間に約65万tの小型家電が廃棄されているが、その中には844億円分もの貴重な金属が含まれていると言われている。

【小型家電に含まれる金・銀・銅（1台あたり）】

●携帯電話	金：約 0.05 g	●ノートパソコン	金：約 0.3 g
	銀：約 0.26 g		銀：約 0.84 g
	銅：約 12.6 g		銅：約 81.6 g

（引用：環境省広報誌「エコジ」2017年10、11月号）

【地域循環型バイオシステム構築モデル】株式会社 八重瀬堆肥センター（八重瀬町字後原 658-2）

畜産業等から出た家畜の糞尿や食料残さからバイオガスプラントでバイオガスを製造・収集し、発電燃料として利用するとともに、残った残渣を利用し、堆肥センターで堆肥を造り、農地に還元している。

家畜糞尿、動植物性食品残さ等、再生可能エネルギーを利用して、地域産業の発展に寄与するモデルケースを構築することを事業目的としている。また、発電した電力は売電をおこなっている。

（引用：株式会社八重瀬堆肥センターHP）

